

# 井原民報

第108号  
発行所  
日本共産党  
井原市議団  
井原市井原町103  
TEL 62-6200  
FAX 62-6209

## 特別支援教育推進協議会 を今年度新たに立ち上げ

### 石井議員の質問に佐藤教育長

日本共産党の石井敏夫議員は、十一日の一般質問で二件質問しました。石井議員は、軽度発達障害の子どものために、早期発見と早期療養の必要性を強調し、ゼロ歳からの支援を訴えました。そして、将来的には軽度発達障害者の就業支援や雇用場の確保を求めました。これに対して、佐藤勝也教育長は、現在の事態と、これまでの支援の内容を報告し、今

後、実態を把握し、学習支援員の更なる充実を考えると答えました。また、本年度新たに「井原市特別支援教育推進協議会」を立ち上げ関係機関と連携し、個々の幼児、児童生徒の実態や状況を把握し、効果的な教育方法の調整・研究を行ったり、乳幼児からの一貫した長期的、継続的な支援体制を整備することを明らかにしました。

## 瀧本市長 「ごみの有料化に固執 森本議員の有料にせず減量をの提言に

日本共産党の森本ふみお議員は、十二日に六件質問しました。森本議員は、ごみの減量化計画実現の具体的な施策を聞き取り、全く無策で納得いく回答は返ってきませんでした。

「市民に減量について協力してもらったため、小部落単位で徹底して説明会をすべきだ」と提言しましたが、市長は全くその気は無く、「できるだけ早く

有料化する日程を決め、連合自治会単位に説明したい」と答弁しました。市長は「有料化は減量に効果があり、不公平の解消になる」と有料化に固執する答弁に終始しました。

また、森本議員は、「後期高齢者医療制度」について、市独自に助成できることを実施し、公共施設の敷地内全面禁煙を進めるよう市長や教育長の考えを聞き

## 森本・石井市議の 生活相談

とき 毎週月曜日 午前10時~12時  
ところ 日本共産党市議団事務所 井原町103  
でんわ 62-6200 (党市議団事務所)  
62-6061 (森本ふみお宅)  
62-4667 (石井敏夫宅)



井原市議会6月定例会で、平成20年度の一般会計と国保、老人保健の2特別会計の補正予算等が審議され、すべて原案通り可決されました。その中から歳出(支出)の主なものをお知らせします。

- ★651万円 国保事業(美星診療所)特別会計繰出金
- ★1,060万円 高齢者非課税世帯へ住宅用火災警報器の給付
- ★900万円 芳井中学校屋内消火栓等修繕工事費
- ★116万円 文化財管理費補助金
- ★100万円(一般寄付)新体操選手育成強化事業費補助金(井原高校へ50万円、ジュニアクラブ男子へ25万円、ジュニアクラブ女子へ25万円)
- ★670万円(国保特別会計)平成19年度の美星診療所の収支調整
- ★1,639万円(老人保健特別会計)支払基金負担金等精算返還金

### 2008年(平成20年)井原市議会6月定例会での質問議員の項目

大滝 文則議員	道路特定財源について	後期高齢者医療制度について
鳥越孝太郎議員	「ふるさと納税」制度の取り組みについて	就学前保育・教育にかかる本市の現状と方向性、出部幼稚園園舎の老朽化に伴う今後の整備充実について
宮地 俊則議員	岡山県の財政破たん危機について	井原市民病院の経営および財政状況について
石井 敏夫議員	定住促進のための企業誘致について	学校給食について
井口 勇議員	軽度発達障害の子どもの支援を乳幼児期から就労まで実施しては	悪臭対策について
佐能 直樹議員	定住促進の支援について	
森本 典夫議員	井原市第6次総合計画の実施について	
川上 武徳議員	後期高齢者医療制度の中で、井原市独自で高齢者に助成等可能なことを最大	
河合 建志議員	限実施していただきたい	「ごみ」を減量するための具体的対策をどう計画していますか
佐藤 豊議員	助産院開設問題で遠野市への視察計画はどうなっていますか	市内の公共施設(幼保、小、中、高校を含む)の敷地内での禁煙を
森下 金三議員	井原医師会との連携について	田中美術館の警備体制について
	道州制の導入について	井原市の公立学校の耐震改修状況とその対応について
	井原市新エネルギービジョンの現状と今後の取り組みについて	観光行政について
	学校耐震化について	食育推進の現状について
	安心安全のまちづくりについて	教育・文化施設の管理運営について

# みなさんの声が実現しました

平成十七年四月に市議選が行われ三年が経ちました。この間、みなさんからの声を森本、石井両議員が市議会等で取り上げ、次のことが実現しました。

● 平成十七年四月から祝日も生(可燃)ごみが収集され始めました。市民ギヤラリーの清掃は、いままでは、展示などをする主催者が自主的にやっていたましたが、平成十七年四月から月一回清掃業者がするように改善されました。

● 井原地域の地区公民館に平成十七年四月～五月にファックス電話が設置されました。

● 今まで一族一枚だった国民健康保険証が、被保険者一人に一枚のカードになりました。

● 子どもの医療費無料の該当年齢が、平成十七年十月一日から小学校入学前までに拡大。さらに、平成十九年四月一日から小学校三年終了までに拡大されました。

● 芳井、美星地区の交通体系が見直され充実・改善されました。

● 平成十八年十月から本市でバスポートの発給が可能になりました。

● 井原市木之子町にあった井原市養護老人ホーム「偕楽園」を四季が丘へ移転新築し、平成十九年四月に開所しました。

● 市例規集がインターネットで誰でも見られるようになりました。避難場所の表示看板のない所は新設。いたんではいる。

● 市立学校の耐震化優先度調査を平成十八年度中に100%完了しました。今後は耐震診断。

● 単県医療費が一割負担となったため平成十九年四月から、県の月額負担限度額の2分の1が低所得世帯に助成されます。

● 西江原幼稚園完成に伴い、平成十九年四月から障害児の受け入れ、十九時までの延長保育の実施、生後三ヶ月の乳児も受け入れています。

● 一人目の保育料が、平成十九年四月から月額千五百円引き下げられました。

● 市営住宅の家賃の減免と徴収猶予が受けられる制度の周知徹底。今まで指名競争入札だった工事のうち、土木、建築工事の予定価格四千万円以上について、平成十九年八月から制限付一般競争入札制度を導入・試行されています。(森本市議は四千万円以上では不十分なので、せめて一千万円以上にすべきだと提言)。

● 公共施設へのハート・プラスマークの設置進む。

● 市がごみの減量について市内の事業所に直接お願いに行く。生涯学習課でノートパソコンを一括(購入)整備し、地区公民館の要請により貸し出す。

● 井原市議会定例会の開会日、一般質問日、閉会日が井原放送で生中継されるようになりました。

● 井原図書館に隣接した駐車場が整備されました。

● 文化財紹介冊子・マップが作られました。

● 児童クラブ指導員確保対策補助金がつきました。

● 溝蓋脱着機を2台購入し、芳井と美星支所に備え付ける。

● 学校施設等十か所の耐震診断の予算がつきました。



井原市議会定例会  
一般質問状況一覧

議員名	平成17年			平成18年			平成19年			平成20年		発言回数	
	6月	9月	12月	3月	6月	10月	12月	3月	6月	9月	12月		
水野 忠範				○				○		○		3	
内田美千子	○	○		○								4	
川上 武徳				○	○	○	○	○	○	○	○	8	
上田 勝義	○	○	○	○	○	○	○	辞職			7		
宮地 俊則		○		○		○	○		○	○	○	7	
佐藤 豊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	
大滝 文則	○			○	○	○	○	○	○	○	○	9	
上本 昇													
井口 勇		○		○		○		○		○		6	
森下 金三		○		○					○		○	4	
田辺 隆則			○							○		2	
河合 建志		○	○		○		○	○	○	○	○	10	
鳥越 勇	○			○			○		○			4	
佐能 直樹				○		○					○	3	
三宅 康之										○		1	
石井 敏夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	
谷本 仲弥								○		○		2	
猪原 保之	○	○	○			○						4	
鳥越孝太郎	○	○				○		○		○	○	8	
川上 泉						○	○					3	
志多木茂夫													
高田 正弘					○			議長			1		
藤原 清和	議長			議長									
森本 典夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	
藤原 正己													
乗藤 俊紀								○				1	
質問者合計	9	11	7	12	8	13	11	11	6	12	7	8	11

◆ 後期高齢者医療制度の廃止を求める請願

◆ 後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書を国に対して提出を求め、継続審査

◆ 長島愛生園・邑久光明園のハンセン病療養所を地域に開かれた医療

◆ 福祉施設として存続・発展させることを求める請願

◆ 「クールアース・デー」の創設等を求める意見書送付に関する請願

◆ 採択

## 請願・陳情の結果

井原市議会は左の二名の委員の推薦と選任の同意をしました。

● 人権擁護委員 (推薦 任期三年)  
門田町 敦子 昭和18年生まれ

● 監査委員 (選任 任期四年)  
西江原町 中山 恒男 昭和12年生まれ